

むしくい たしざん（ふくろに わける）①

1ねんせい／おなじ かずの ふくろ ふたつ 6もん

なまえ _____

ひづけ _____

ふくろが ふたつ あります。

ふくろの なかは みえません。

ふたつの ふくろには、おなじ かずが はいって います。

ぜんぶの かずは = の みぎです。

ふくろの なかの かずを、ふたつの □に かきましょう。

□は ふたつとも おなじ かずです。

れい ●●● ●● おなじ ●● かず

$$3 + \boxed{2} + \boxed{2} = 7$$

(1) ●●●●●● ふくろ おなじ ふくろ かず

$$6 + \boxed{} + \boxed{} = 10$$

(2) ●● ふくろ おなじ ふくろ かず

$$2 + \boxed{} + \boxed{} = 10$$

(3) ●●● ふくろ おなじ ふくろ かず

$$3 + \boxed{} + \boxed{} = 9$$

(4) ●●●●●● ふくろ おなじ ふくろ かず

$$5 + \boxed{} + \boxed{} = 9$$

(5) ●●●● ふくろ おなじ ふくろ かず

$$4 + \boxed{} + \boxed{} = 10$$

(6) ● ふくろ おなじ ふくろ かず

$$1 + \boxed{} + \boxed{} = 9$$

おうちの方へ（すすめかた）

れいを いっしょに 見ます。ふくろの なかは みえませんが、2つとも おなじ かずです。

ぜんぶから 見えている ●を とった のこりを、2つの ふくろに おなじ かずずつ わけます。



むしくい たしざん（ふくろに わける）②

1ねんせい／ふくろだけ ふたつ 4もん

なまえ _____

ひづけ _____

ふくろが ふたつ あります。
ふくろの なかは みえません。
ぜんぶの かずは =の みぎです。
ぜんぶの かずを、おなじ かずの ふたつに わけます。
 $\square + \square =$ ぜんぶ になる かずを かきましょう。
 $\square$ は ふたつとも おなじ かずです。

れい



$$\boxed{1} + \boxed{1} = 2$$

(1)



$$\square + \square = 4$$

(2)



$$\square + \square = 10$$

(3)



$$\square + \square = 8$$

(4)



$$\square + \square = 6$$

おうちの方へ（すすめかた）

見えている ● は ありません。ぜんぶの かずを、おなじ かずの 2つに わけます。
おはじきなどを使って 2つに わけて みても よいです。



むしくい たしざん（ふくろに わける）③

1ねんせい／ふくろが みつつ 4もん

なまえ _____

ひづけ _____

ふくろが みつつ あります。
みつつとも おなじ かずです。
ぜんぶの かずは = の みぎです。
のこりは、ぜんぶから みえてる ● を とった かずです。
のこりを みつつに わけて、□ に かきましょう。
□ は みつつとも おなじ かずです。

れい ●●●● (●●) (●●) (●●)

$$4 + \boxed{2} + \boxed{2} + \boxed{2} = 10$$

(1) ● (ふくろ) (ふくろ) (ふくろ)

$$1 + \boxed{} + \boxed{} + \boxed{} = 7$$

(2) ● (ふくろ) (ふくろ) (ふくろ)

$$1 + \boxed{} + \boxed{} + \boxed{} = 10$$

(3) ●●● (ふくろ) (ふくろ) (ふくろ)

$$3 + \boxed{} + \boxed{} + \boxed{} = 9$$

(4) ●● (ふくろ) (ふくろ) (ふくろ)

$$2 + \boxed{} + \boxed{} + \boxed{} = 8$$

おうちの方へ（すすめかた）

ふくろが 3つ になりました。のこりを 3つの ふくろに 1つずつ くばるように わけます。
ふくろを ゆびで さしながら くばると わかりやすく なります。



むしくい たしざん（ふくろに わける）④

1ねんせい／ひとつ おおい ふくろ 6もん

なまえ _____

ひづけ _____

ふくろが ふたつ あります。

ふくろの なかは みえません。

ぜんぶの かずは =の みぎです。

みぎの ふくろは、ひだりの ふくろより 1 おおい です。

ふたつの □に かずを かきましょう。

ひだりの □に ひだりの ふくろ、みぎの □に みぎの ふくろの かずを かきます。

れい ●● ひだり
●● みぎ・1 おおい
●●●

$$2 + \boxed{\begin{smallmatrix} \text{ひだり} \\ 2 \end{smallmatrix}} + \boxed{\begin{smallmatrix} \text{みぎ} \\ 3 \end{smallmatrix}} = 7$$

(1) ● ひだり
ふくろ みぎ・1 おおい
ふくろ

$$1 + \boxed{\begin{smallmatrix} \text{ひだり} \\ \end{smallmatrix}} + \boxed{\begin{smallmatrix} \text{みぎ} \\ \end{smallmatrix}} = 6$$

(2) ● ひだり
ふくろ みぎ・1 おおい
ふくろ

$$1 + \boxed{\begin{smallmatrix} \text{ひだり} \\ \end{smallmatrix}} + \boxed{\begin{smallmatrix} \text{みぎ} \\ \end{smallmatrix}} = 4$$

(3) ●● ひだり
ふくろ みぎ・1 おおい
ふくろ

$$2 + \boxed{\begin{smallmatrix} \text{ひだり} \\ \end{smallmatrix}} + \boxed{\begin{smallmatrix} \text{みぎ} \\ \end{smallmatrix}} = 9$$

(4) ●●● ひだり
ふくろ みぎ・1 おおい
ふくろ

$$3 + \boxed{\begin{smallmatrix} \text{ひだり} \\ \end{smallmatrix}} + \boxed{\begin{smallmatrix} \text{みぎ} \\ \end{smallmatrix}} = 8$$

(5) ●● ひだり
ふくろ みぎ・1 おおい
ふくろ

$$2 + \boxed{\begin{smallmatrix} \text{ひだり} \\ \end{smallmatrix}} + \boxed{\begin{smallmatrix} \text{みぎ} \\ \end{smallmatrix}} = 5$$

(6) ●●● ひだり
ふくろ みぎ・1 おおい
ふくろ

$$3 + \boxed{\begin{smallmatrix} \text{ひだり} \\ \end{smallmatrix}} + \boxed{\begin{smallmatrix} \text{みぎ} \\ \end{smallmatrix}} = 10$$

おうちの方へ（すすめかた）

こんどは 2つの ふくろが おなじでは ありません。みぎの ふくろが 1 おおい です。

のこりから 1を とって 2つに わけ、みぎに 1を もどす と 考えても よい です。



むしくい たしざん（ふくろに わける） ⑤

1ねんせい／ともだちの こたえを たしかめよう 4もん

なまえ _____

ひづけ _____

ともだちが ふたつの □に かずを かきました。
 ともだちの かずは、てんせんの わくの なかの かずです。
 ぜんぶになるか たしかめて、○か ×をつけましょう。
 みえてる ●と ふくろ ふたつぶんを たします。
 =の みぎと おなじなら ○、ちがえば ×です。
 ○か ×は「○か ×」の □に かきます。

れい ●● ●● おなじ ●● かず

$$2 + \boxed{4} + \boxed{4} = 6 \quad \text{くちで いおう : 2と 2}$$

○か ×
×

(1) ● ふくろ おなじ ふくろ かず

$$1 + \boxed{4} + \boxed{4} = 5$$

○か ×

(2) ● ふくろ おなじ ふくろ かず

$$1 + \boxed{3} + \boxed{3} = 7$$

○か ×

(3) ●●●● ふくろ おなじ ふくろ かず

$$4 + \boxed{2} + \boxed{2} = 8$$

○か ×

(4) ●● ふくろ おなじ ふくろ かず

$$2 + \boxed{4} + \boxed{4} = 8$$

○か ×

おうちの方へ（すすめかた）

ともだちの かず（てんせんの わく）を 2つ たして、みえてる ●も たして、=の みぎと くらべます。
 ○か ×を 書いたら、ちがう ときは ただし かずを 口で 言って みましょう。

